北海道国立大学機構

エグゼクティブMBAプログラム

# Humanior（フマーニオール）

2025.07.04-10.10

リーダーに必要なのは、「答え」ではなく、

## 道を照らす「灯り」

その灯りは、自分を照らす。　あなたの灯りは、誰かの道を照らす。　これは、リーダーの灯りを点すための学び。

エグゼクティブMBAプログラム“Humanior”はリーダーのよりゆたかな人間性を涵養するための学びです。リーダーには自らと仲間の道を照らし、共に歩むために、優れた人間性 - 物事の本質を問う力、自然、社会、人間に対する洞察力、科学的知見に基づいた包容力、そして教養と感受性が求められます。このプログラムではアカデミアが中心となって、3か月間で生理学や哲学、芸術学などからなる多様なハイフレックス型講義と、北海道の児童養護施設や刑務所におけるフィールドワークでリーダーの人間性向上のための学びを提供します。わたしたちは、混迷の時代で自らの人間性を高め、道を照らしたいと思うリーダーの参加を待っています。

# 質察容養受
# 本洞包教感
## リーダーに相応しい人間性

| | | | |
|---|---|---|---|
| 01 | 7月4日 | フィールドワークⅠ 刑務所から社会を考える | 小樽商科大学 准教授 泉 貴嗣 |
| 02 | 7月4日 | 講義 新たな学びに向けたアンラーニング | (株) 仕事旅行者代表取締役 田中 翼 |
| 03 | 7月12日 | 講義 「女性特有の健康問題」と社会を考える | 小樽協会病院 医師 黒田 敬史 |
| 04 | 7月19日 | 講義 宗教から自分と世界を問い直す | 小樽商科大学 講師 堀 雅彦 |
| 05 | 7月26日 | 講義 「物事の本質を問う力」を鍛える | 小樽商科大学 准教授 宮田 賢人 |
| 06 | 8月1日 | フィールドワークⅡ 現代社会の生命と食について考える | 帯広畜産大学 教授 岩本 博幸 |
| 07 | 8月9日 | 講義 アートから自分の感受性を問い直す | 慶應義塾大学 教授 渡部 葉子 |
| 08 | 8月16日 | 講義 社会言語学からコミュニケーションを考える | 慶應義塾大学 教授 井上 逸兵 |
| 09 | 8月23日 | 講義 歴史学から問い直す自分の“当たり前” | 慶應義塾大学 准教授 十川 陽一 |
| 10 | 8月30日 | 講義 社会における政治の意味を考える | 元参議院議員 二之湯 武史 |
| 11 | 9月6日 | 講義 心理学から自分と社会を考える | 小樽商科大学 教授 杉山 成 |
| 12 | 9月13日 | 講義 自他の老いを知り、向き合う | 小樽商科大学 教授 高橋 恭子 |
| 13 | 9月20日 | 講義 倫理学で「意思決定力」を鍛える | 小樽商科大学 准教授 宮田 賢人 |
| 14 | 9月27日 | 講義 ジェンダー平等の意味を考える | 小樽商科大学 准教授 須永 将史 |
| 15 | 10月4日 | 講義 自然環境と現代社会を考える | 小樽商科大学 教授 片山 昇 |
| 16 | 10月10日 | 講義 数学を通して考える人間関係 | 北見工業大学 准教授 中村 文彦 |
| 17 | 10月10日 | フィールドワークⅢ 子どもから社会と未来を考える | 小樽商科大学 准教授 泉 貴嗣 |

受講対象　将来、組織を担う人材。企業・官公庁・非営利組織（NPO、社団、財団法人等にお勤めの方

定員　２０名

申込　２０２５年
締切　６月２２日（日）

受講料金　15万円（税込）
（現地までの交通費・宿泊費は各自負担）

主催　北海道国立大学機構
（小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学の設置者）

申込方法

受講方法　対面・オンライン ハイフレックス
※フィールドワークは現地（対面のみ）

受講場所　北海道小樽市
北海道札幌市
東京都池袋サンシャイン60

各科目は原則としてハイフレックス方式で実施し、対面での受講かオンラインでの受講かを実施日毎にお選びいただけます。ただし、フィールドワークは現地（対面）での受講のみとなります。各回の受講場所は、QRコード先HPの「4. 受講プログラム」をご確認ください。